

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< [脳卒中の再発予防のための血圧管理](#) | [TOP](#) | [肺塞栓症の診断とd-dimerについて](#) >>

2020年01月06日

## 急性呼吸器感染症におけるプロカルシトニン測定

### 急性呼吸器感染症におけるプロカルシトニン測定

An investigation of the effects of procalcitonin testing on antimicrobial prescribing in respiratory tract infections in an Irish university hospital setting



急性の下気道感染症は多くがウイルス性で、細菌性の合併は多くても40%との報告です。(下気道感染症とは呼吸困難、痰を伴い、聴診上の所見、レントゲン所見など総合的に判断しています。)

その際に抗生剤を適切に処方する事と、いつ休薬するかを決定するツールとして、プロカルシトニンは以前より有力視されていますが、一方でその判定に関しては一貫性が無く、採用には賛否両論です。今回その有用性を報告した論文が発表になっていますので、ブログしてみます。

1) プロカルシトニンは、細菌感染により誘導されたサイトカインです。しかしウイルス性感染症によりプロカルシトニンの産生は抑制されます。その結果、細菌感染症とウイルス性感染症を鑑別することが出来ず。又感染症が軽快すると急激に低下します。従って抗生剤の投与と中断の決定に有効となります。

2) 本研究の対象はアイルランド国立大学 (University College Cork, UCC) に、下気道感染症で入院目的で紹介され、呼吸器専門家のチームによる診断治療を受けた患者です。その中でプロカルシトニンを検査した群 (Active arm ;PCT) と検査をしない群 (Respiratory control group) に分けています。更に小規模病院で非専門家により急性下気道感染症と診断され、一般的な診断治療を施された群 (Control group 2) も追加して比較検討しています。Control group 2はプロカルシトニンの検査をしていません。検査のストラテジーは下記に示します。詳しくは本論文のPDFをご参照ください。

<< 2020年02月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

### 最近の記事

(02/12) [ゾフルーザは季節性インフルエンザ治療に使うべきではない 菅谷憲夫氏の提言](#)

(02/10) [米国予防接種スケジュール・2020年版](#)

(02/08) [新型コロナウイルスに対するリスク評価の暫定的なアメリカのガイドライン](#)

(02/06) [前立腺癌検診のPSAによる効率化](#)

(02/03) [小さな旅・幸せの赤い提灯](#)

### 最近のコメント

[新型コロナウイルスに対するリスク評価の暫定的なアメリカのガイドライン](#) by (02/09)

[小さな旅・幸せの赤い提灯](#) by (02/05)

[新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬について](#) by (02/03)

[新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬について](#) by (02/03)

[新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬について](#) by (02/02)

### タグクラウド

### カテゴリ

[小児科](#) (186)

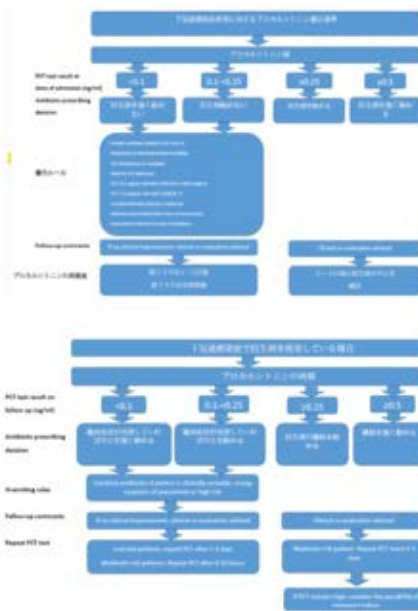
[循環器](#) (195)

[消化器・PPI](#) (115)

[感染症・衛生](#) (75)

[糖尿病](#) (109)

[喘息・呼吸器・アレルギー](#) (84)



- インフルエンザ(97)
- 肝臓・肝炎(60)
- 薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導(43)
- 脳・神経・精神・睡眠障害(38)
- 整形外科・痛風・高尿酸血症(28)
- ワクチン(31)
- 癌関係(10)
- 脂質異常(28)
- 甲状腺・副甲状腺(17)
- 婦人科(8)
- 泌尿器・腎臓・前立腺(30)
- 熱中症(7)
- 日記(17)
- その他(63)

過去ログ

- 2020年02月(6)
- 2020年01月(19)
- 2019年12月(14)
- 2019年11月(15)
- 2019年10月(18)
- 2019年09月(18)
- 2019年08月(14)
- 2019年07月(14)
- 2019年06月(16)
- 2019年05月(14)
- 2019年04月(18)
- 2019年03月(19)
- 2019年02月(19)
- 2019年01月(15)
- 2018年12月(16)
- 2018年11月(20)
- 2018年10月(20)
- 2018年09月(18)
- 2018年08月(24)
- 2018年07月(18)
- 2018年06月(18)
- 2018年05月(20)
- 2018年04月(19)
- 2018年03月(20)
- 2018年02月(14)
- 2018年01月(14)
- 2017年12月(20)
- 2017年11月(17)
- 2017年10月(22)
- 2017年09月(18)
- 2017年08月(20)
- 2017年07月(23)
- 2017年06月(19)
- 2017年05月(19)
- 2017年04月(22)
- 2017年03月(20)
- 2017年02月(18)
- 2017年01月(21)

3) 対象者は18歳以上の下気道感染症で、アイルランド国立大学に紹介され入院した患者です。生命の危険のある重症例や免疫不全の患者は除外しています。登録者は120人で、検査をしない群 (Respiratory control group) を2対1になるようにしています。一般的な診断治療を施された群 (Control group) は50~200人より選んでいます。

4) 主要転帰は抗生剤の使用期間です。2次転帰は、入院期間、30日以内の再入院、抗生剤の副作用が主です。

5) 結果  
抗生剤の使用期間は6.8日対8.9日、入院期間は7日対8日と、プロカルシトニンを検査した群が短縮していました。その他の結果は下記の図です。

JAL

Effects of procalcitonin testing on antimicrobial use in RTIs

**Table 3. Primary and secondary outcome data**

	PCT (n=70)	Respiratory control (n=42)	General control (n=48)	P value
Primary outcomes, mean ± SD (median)				
DDDs per patient	11.1 ± 7.5 (8.6)	13.2 ± 10.7 (9.5)	16.5 ± 11 (14.5)	0.218
DOT per patient	6.9 ± 6.3 (7.5)	11 ± 7.6 (8.25)	13.7 ± 11.1 (11.6)	0.077
total duration of inpatient antimicrobial therapy (LOS) (days)	6.8 ± 7.2 (7)	8.9 ± 6 (8)	8.6 ± 7.6 (8)	0.021*
LOS (days)	7.4 ± 4.3 (7)	10.5 ± 6.1 (8)	8.9 ± 7.8 (8)	0.009*
Secondary outcomes, n (%)				
hospital readmission within 30 days	7 (10)	8 (20)	7 (14.6)	0.1007
relapse of infection within 30 days	4 (7.8)	8 (20)	6 (12.5)	0.0924
adverse events	6 (7.8)	3 (7.5)	4 (8.3)	0.8852

\*Statistical significance was set as P<0.05, and P values relate to the comparison between the PCT and respiratory control groups.

尚、DDDは入院日数当たりの抗生剤使用量、DOTは抗生剤使用日数、LOSは入院日数を表します。詳しくは下記のPDF参照

私見)  
プロカルシトニンを迅速にかつ頻りに測定し、患者層を限定すれば有効なツールであるようです。又プロカルシトニンの偽陽性にも注意が必要です。本院での採用に関してとストラテジーは、再度ブログします。

[2016年12月](#)(17)  
[2016年11月](#)(25)  
[2016年10月](#)(22)  
[2016年09月](#)(21)  
[2016年08月](#)(20)  
[2016年07月](#)(26)  
[2016年06月](#)(27)  
[2016年05月](#)(24)  
[2016年04月](#)(24)  
[2016年03月](#)(25)  
[2016年02月](#)(23)  
[2016年01月](#)(23)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

[1 プロカルシトニンのストラテジー.pdf](#)

[2 本論文procalcitonin.pdf](#)

[3 ddd dot los.pdf](#)

0 0

 ブックマーク

【感染症・衛生の最新記事】

- ※ [新型コロナウイルスに対するリスク評価の暫定...](#)
- ※ [小さな旅・幸せの赤い提灯](#)
- ※ [新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬につ...](#)
- ※ [新型コロナウイルスの入院患者の臨床症状・...](#)
- ※ [もう10年、もう1つのコロナウイルス・そ...](#)

posted by 齋賀一 at 17:47 | [Comment\(0\)](#) | [感染症・衛生](#)

この記事へのコメント  
コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

コメント:

